

公明党 横浜市会ニュース 第74号

民衆の声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com



整備中の星川雨水調整池(保土ヶ谷区)を視察

**ハザードマップ活用法**

●浸水ハザードマップの使い方●

1. 浸水ハザードマップの活用は、災害発生時の避難経路の確保や、避難場所の確保に役立ちます。

2. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

3. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

4. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

5. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

6. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

7. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

8. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

9. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

10. 浸水ハザードマップは、浸水が予測される地域を示しています。浸水が予測されない地域でも、浸水が予測される地域と隣接している場合は、浸水が予測される可能性があります。

**ハザードマップ**

公明党横浜市会議員団は市民を守る防災減災対策の推進に全力を注いで参りました。いざという時にも利用できる道路の整備、路面下空洞調査、防災拠点や防災備蓄庫の整備、市立小学校の子ども用ヘルメットの配備など市民目線で具体的な対策を進めてきました。

このほど、議員団として横浜市下水



## 横浜の防災減災対策推進!

道建設事務所を訪問し、内水はん濫を含む「浸水ハザードマップ」の活用状況を確認し、その後、星川雨水調整池の整備状況を視察。

集中豪雨で下水道や水路などがあふれる「内水はん濫」による浸水区域などを示す「内水ハザードマップ」の作成は、平成22年に公明党市議員団が提案したものです。50cm以上の浸水が予測される地域に配布され、その他の地域は区役所等で希望者に配布されています。

これからも災害に強い、安全・安心の街づくりを推進して参ります。



第23回五大市政策研究会の様子

**第23回五大市政策研究会の開催**

五政令指定都市（横浜、名古屋、京都、大阪、神戸）による「五大市政策研究会」が横浜市内で開催されました。

今回は、国で公明党がリードして法制化された「生活困窮者自立支援の取り組み」、また「大都市制度への取り組み」について研究テーマとし、各都市の実例報告、意見交換が行われました。

今回の研究会を経て、放課後児童対策における低所得世帯、多子世帯等への利用減免制度の創設などを国へ要望する予定です。

## 望月やすひろ通信 市政報告 Vol.31



横浜市議員(港北区選出)  
望月やすひろ

### 平成27年第3回定例会の論戦から

**マイナンバー制度について**

マイナンバー制度の導入にあたって市民の利便性向上が期待されるが個人情報保護に配慮した安全安心な仕組みをどのように構築していくのか市長に質問しました。

林市長は「個人情報を各行政機関が分散して管理し、連鎖的な情報漏えいを防止することや特定個人情報を取り扱う職員を限定することなど、しっかりとセキュリティ対策を進める」と答弁しました。

**議案関連質疑**

**ダブルケアの包括的な対応策の推進を提案!**

子育て中に親の介護にも直面するダブルケアという課題に対する対応策の必要性について質問しました。

林市長は「今後増加していく傾向にあり、深刻な課題であると捉え、研究会を中心に積極的な包括的な対応策を検討する」と答弁しました。



**一般質問**

**市立中学校のスクールランチ方式の昼食—平成28年度中の全校実施を着実に推進!**

公明党市議員団が提案したスクールランチ方式と一致する、仮称「横浜型配達弁当」の準備について質問しました。

教育長は「学校へ届いた弁当を、昼食時間まで一時的に保管するスペースの整備は、今年度中に全校で完了し、また、名称は、生徒から募集し、年内には決定予定など、28年度中の全校実施に向け、実施体制、安全性の確保を着実に進めている」と答弁しました。

**防災行政無線の活用について**

災害からの被害を最小限に留めるために、行政からの情報発信の拡充について質問しました。

林市長は、「防災行政無線を利用した屋外スピーカーは、河川周辺の広範な地域に、迅速に情報を伝える必要がある洪水への対策として、大変有効であり、河川周辺における過去の浸水履歴や想定される浸水の深さなどをとらえ、整備する地域及び優先順位などについての検討を年内にとりまとめる予定」と答弁しました。

安全・安心の取り組みをしっかりと進めて参ります。



防災行政無線を利用した屋外スピーカー

**平成26年度決算総合審査**

**食品衛生責任者講習会の受講促進に向けて**

講習会は、広報よこはま等で周知し区福祉保健センターが実施するもののほかに、各区の食品衛生協会が、毎年、講習会を実施しているが受講状況が約5割である現状を踏まえ、講習会の受講を促進するための取り組みについて質問しました。

健康福祉局長は「今後は、さらに実務に活かせるタイムリーな内容とすること、受講者の業態に合わせた時間帯での実施などについて検討し、受講しやすい講習会とすることで、受講促進に取り組む」と答弁しました。



講習会の様子